

科目名	美と健康科学			Subject	Beauty & Health Science			
サブタイトル	毛髪科学の知識に対する理解を深め、皮膚・薬剤の特性にも精通しサロンワークに活かすことができる。							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP 1 知識・技能	DP 2 主体的行動力	DP 3 課題解決能力	DP 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP 6 美しく生きる力を実践できる能力
2 年	冬季	選択						
授業形態	単位	時間						
講義	1 単位	30 時間	◎		○			
ゲストスピーカー招聘回								
教員名	相馬 勉			メールアドレス	tsutomu.soma@・・・			
教員の略歴	青山の美容室でヴィダルサスーンカットを習得後、美容室 style. をオープン。美容室経営者兼スタイリストとしての経験と技術・知識を活かし美容学校で講師としても活動中。							
実践的教育	○ 美容師：美容室で実践している最新の薬剤の効果効能や、毛髪科学の理論を反映している。							
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。							

科目の概要								
美容師は、顧客の頭皮や毛髪の状態を観察しその方に適した方法で施術を行うなど、美容を通じて美しく生きるために必要な能力を養わなければならない。正しい診断をするためには、皮膚やその付属器官(毛髪等)における科学的知識が必要不可欠となる。本授業においては、それらの知識を美容に関連付けながら学習し、理解を深める。 希望によりヘアケアマイスターの資格試験を受験可能。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	-	-	-			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP1	毛髪科学に対する理解を深め、毛の構造と性質について説明できる							
DP3	カラー剤・パーマ液の特徴を理解し、新しいデザインを創造できる							
教科書・教材								
教科書	保健(公益社団法人日本理容美容教育センター 2026 年)、配布プリント							
参考文献	ヘアケアマイスターブック 第5 版(著者/日本ヘアケアマイスター協会・出版年/2025 年) しんびよう等美容雑誌(著者/新美容出版株式会社・出版年/2024～2025)							
各自準備教材	20 ページ程度のクリアファイルブック(テキスト保管用)							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
70%	-	10	20%	-	-	-	-	-
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
定期試験の要点について、掲示にて解説をおこないます。 補足の資料は classroom にて配布し、問い合わせは個別に対応する。								
履修上の条件・注意								
遅刻、欠席は厳しく管理します。また授業中の私語、勝手な退室、授業妨害等迷惑行為を行った場合は、欠席扱いとします。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
ヘアケアマイスタープライマリーコース・ミドルコース								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション 髪、人種・性別による差、特徴を類別について学ぶ。	毛髪、人種・性別による差、特徴を類別することができる。	時間外学習用に作製した毛髪科学の専門用語をまとめたテキストを使用し、今後の授業内容の理解度を上げる。 (復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 2 回	前回の復習&毛の構造とその特性や働きについて学ぶ。	前回の内容の理解を深め、毛髪の役割や働きを列記することができる。	時間外学習用に作製した毛髪構造に重点を置いたテキストを配布、自身で構造図を作成する。引き続き専門用語の復習問題集を使用する。 (復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 3 回	前回の復習&毛髪の特徴、毛の型と毛の成長周期を学ぶ。	前回の内容の理解を深め、小児の毛・大人の毛の違い、多毛・抜け毛について比較できる。	時間外学習用に作成した授業の 1～3 回の総復習テキストを使用し、再確認と、今後の授業の基礎を固める。 (復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 4 回	前回の復習&毛の型の変化と毛の性状について学ぶ。	前回の内容の理解を深め、毛の成長と変化、薬物・化学物質などの外的要因の影響を関係づける事ができる。	時間外学習用に作成した毛髪の知識編の内容の総復習テキストと、より緻密な専門用語集で予復習をする。 (復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 5 回	前回の復習:毛髪科学基礎知識の振り返り	毛髪科学の基礎知識の内容に対する理解を深め、毛の構造と性質について説明できる。	時間外学習用に作成したケミカルの知識と専門用語に対応できるオリジナルテキストを配布、解答し理解を深める。 (復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 6 回	毛髪科学理論:実践編 1 タンパク質構造の理解と、毛髪のダメージについて学ぶ。	タンパク質の薬剤による変化とダメージへの対応例を挙げることができる。	時間外学習用に作成した、美容業務における主要薬剤の成分をまとめた資料を配布、閲覧し薬剤知識を深めておく。 (復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 7 回	毛髪科学理論 実践編 2 頭皮診断&毛髪診断と目的別カウンセリングの理論を学ぶ。	現状の毛髪の状況の見極め方(髪質・クセ毛・ダメージレベルなど)をサロンベースで理解し個々の毛髪の特徴を具体的に述べる事ができる。	時間外学習用に作成した美容業務における主要薬剤の復習・高需要なシャンプー剤の特徴の復習資料で流行の傾向を予復習しておく。 (復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 8 回	毛髪科学理論 実践編 3 シャンプー剤の違いとスタイリング剤について学ぶ。	界面活性剤・シャンプー剤・トリートメント剤・スタイリング剤の成分と働き、効果効能の例を挙げることができる。	時間外学習用に作成した前半授業内容の総復習テキストと、より緻密な専門用語集で予復習をする。(復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 9 回	毛髪科学理論 実践編 4 トリートメントの種類と違いを学ぶ	施術内容にあわせたケアの方法、潤いとツヤとハリ、エイジングケアの成分について類別できる。	時間外学習用に作成した前・後処理剤選定の効果的な使用法を調べ、テキストにまとめる。 (復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 10 回	毛髪科学理論 実践編 5 カラー剤の仕組みを学ぶ	染毛剤による毛髪、皮膚への影響、メラニンの構造、染毛剤発色の仕組みについて理解し、説明できる。	時間外学習用に作成したカラー剤が髪と頭皮に及ぼす変化と効果の復習用テキストを配布、使用しカラー剤の染毛理論を理解する。 (復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 11 回	毛髪科学理論 実践編 6 パーマ剤の知識を学ぶ。	パーマ剤の皮膚への影響、毛髪へのダメージコントロールを理論的に関係づけることができる。	時間外学習用に作成したパーマの種類と技術内容により、変化する毛髪成分の複雑さを理解する特別テキストを使用。 (復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 12 回	毛髪科学理論 実践編 7 医薬部外品・化粧品の違いを学ぶ	香粧品に関するケミカル用語、理論について理解し、説明できる	時間外学習用に作成したテキストを使用し、カラー剤とパーマ剤の髪に及ぼす変化と効果の復習。(復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 13 回	毛髪科学理論 実践編 8 皮膚のメカニズムと機能を学ぶ	皮膚の構造と機能、役割を学び、肌質に合わせた対応について説明できる	時間外学習用に作成した肌トラブルの原因と、老化に対するエイジング理論を学習テキストにて復習する。 (復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 14 回	毛髪科学理論 実践編 9 スカルプケアについて学ぶ	頭皮・頭毛の正しい手入れ法、毛と皮膚の疾患の種類と特徴、原因を他者に説明できる。	時間外学習用に作成したテキストにて育毛・発毛・クセ毛の知識を要約し説明できる用語集を使用し、現場で活かせる知識を得る。 (復習用動画教材配信の場合あり)	60 分
第 15 回	授業の振り返り(総復習)	ヘアケアマイスター試験に重要な箇所を再確認し、資格取得に向けて学んだ知識を応用し、正しく解答できる。	時間外学習用に作成した 15 回の授業のまとめ・総復習テキストを配布。 (復習用動画教材配信の場合あり)	60 分